

令和2年度ごみ処理実績表

1 令和2年度ごみ処理実績表

人口・世帯数比較表（対前年度比）

	令和2年度	令和元年度	増減	対前年度比
人口（人）	607,750	608,390	-640	99.9%
世帯数（世帯）	295,489	292,000	3,489	101.2%

※各年度3月31日現在

ごみ発生量比較表（対前年度比）

	令和2年度(t)	令和元年度(t)	増減(t)	対前年度比
排出量	183,142.39	183,899.20	-756.81	99.6%
排出量（集団資源回収を除く）	172,039.11	172,076.62	-37.51	100.0%
一般ごみ	142,846.86	145,715.85	-2,868.99	98.0%
粗大ごみ	7,430.11	6,904.25	525.86	107.6%
資源物	21,642.72	19,022.50	2,620.22	113.8%
びん	3,582.53	3,342.23	240.30	107.2%
飲料かん	1,518.04	1,375.79	142.25	110.3%
金属類	1,667.09	1,445.59	221.50	115.3%
ペットボトル	2,343.24	2,166.56	176.68	108.2%
繊維類	2,427.23	2,008.80	418.43	120.8%
紙類	6,436.18	5,328.69	1,107.49	120.8%
プラスチック製容器包装	3,668.41	3,354.84	313.57	109.3%
乾電池	90.54	88.14	2.40	102.7%
有害ごみ（蛍光管）	12.01	12.56	-0.55	95.6%
集団資源回収	11,103.29	11,822.58	-719.29	93.9%
災害廃棄物	16.87	333.32	-316.45	5.1%

家庭系・事業系別排出量比較表（対前年度比）

	令和2年度(t)	令和元年度(t)	増減(t)	対前年度比
家庭系	130,980.74	126,664.76	4,315.98	103.4%
一般ごみ	101,910.08	100,726.16	1,183.92	101.2%
粗大ごみ	7,349.85	6,833.58	516.27	107.6%
資源物	21,618.26	19,004.32	2,613.94	113.8%
乾電池	90.54	88.14	2.40	102.7%
有害ごみ（蛍光管等）	12.01	12.56	-0.55	95.6%
事業系	41,041.50	45,078.54	-4,037.04	91.0%
一般ごみ	40,936.78	44,989.69	-4,052.91	91.0%
粗大ごみ	80.26	70.67	9.59	113.6%
資源物	24.46	18.18	6.28	134.5%

中間処理量比較表（対前年度比）

	令和2年度(t)	令和元年度(t)	増減(t)	対前年度比
焼却処理	152,297.67	153,782.18	-1,484.51	99.0%
破砕処理	5,801.44	5,553.01	248.43	104.5%
資源化処理	21,646.89	19,026.61	2,620.28	113.8%

最終処分量比較表（対前年度比）

	令和2年度(t)	令和元年度(t)	増減(t)	対前年度比
焼却残渣	6,751.66	7,040.73	-289.07	95.9%
資源化物	31,741.35	29,336.98	2,404.37	108.2%
処理困難物	176.72	141.22	35.50	125.1%

※ 令和11年度を目標年度とする最終処分量（焼却残渣物）の目標は6,009 t

資源化物比較表（対前年度比）

	令和2年度(t)	令和元年度(t)	増減(t)	対前年度比
資源化物	31,741.35	29,336.98	2,404.37	108.2%
焼却残渣金属	791.29	796.67	-5.38	99.3%
未酸化鉄	748.74	737.03	11.71	101.6%
未酸化アルミ	56.88	71.31	-14.43	79.8%
溶融スラグ	8,054.50	7,303.65	750.85	110.3%
焼却残渣物（セメント資源・路盤材資源）	1,212.52	1,836.78	-624.26	66.0%
再生粗大ごみ	8.79	8.13	0.66	108.1%
破砕前金属	344.66	294.89	49.77	116.9%
破砕後金属	1,011.95	951.63	60.32	106.3%
破砕前アルミ屑	39.74	36.94	2.80	107.6%
破砕後アルミ屑	36.40	32.81	3.59	110.9%
びん	3,493.07	3,238.64	254.43	107.9%
飲料かん	1,267.15	1,140.94	126.21	111.1%
金属類	1,214.21	1,127.26	86.95	107.7%
繊維類	1,807.44	1,520.28	287.16	118.9%
ペットボトル	1,981.99	1,859.24	122.75	106.6%
紙類	6,212.87	5,159.02	1,053.85	120.4%
プラスチック製容器包装	3,279.79	3,050.96	228.83	107.5%
特定家庭用機器	10.96	11.05	-0.09	99.2%
小型家電	65.86	59.05	6.81	111.5%
乾電池	90.54	88.14	2.40	102.7%
二次電池	0.00	0.00	0.00	—
蛍光灯	12.01	12.56	-0.55	95.6%

1人・1世帯あたり排出量比較表（対前年度比）

	令和2年度(g)	令和元年度(g)	増減(g)	対前年度比
1人1日あたり	825.60	825.88	-0.28	100.0%
1世帯1日あたり	1,698.07	1,720.74	-22.67	98.7%

※ 1人（1世帯）1日あたり排出量＝排出量÷年度末人口（世帯）÷365日（令和元年度は366日）

※ 令和11年度を目標年度とする市民1人1日あたりのごみ排出量目標は760 g

資源化率及びリサイクル率比較表（対前年度比）

	令和2年度(g)	令和元年度(g)	増減(%)	対前年度比
資源化率(%)	18.5%	17.0%	1.5	108.8%
リサイクル率(%)	23.4%	22.4%	1.0	104.5%

※ 資源化率(%)＝資源化物÷排出量（集団資源回収を除く）×100

※ リサイクル率(%)＝（資源化物＋集団資源回収）÷排出量×100

※ 令和11年度を目標年度とするリサイクル率の目標は30.0%

人口(人)	607,750
(99.9%)	
世帯数(世帯)	295,489
(101.2%)	

排出量	183,142.39
(99.6%)	

排出量	172,039.11
(100.0%)	

集団資源回収	11,103.29
(93.9%)	

[収集運搬] + [直接搬入]

一般ごみ	142,846.86
(98.0%)	
家庭系	101,910.08
事業系	40,936.78
一般廃棄物	40,533.52
併せ産廃	403.26

粗大ごみ	7,430.11
(107.6%)	
家庭系	7,349.85
事業系	80.26

資源物

びん	3,582.53
家庭系	3,579.68
事業系	2.85
飲料かん	1,518.04
家庭系	1,511.28
事業系	6.76
金属類	1,667.09
家庭系	1,667.09
事業系	0.00
ペットボトル	2,343.24
家庭系	2,337.28
事業系	5.96
繊維類	2,427.23
家庭系	2,427.21
事業系	0.02
紙類	6,436.18
家庭系	6,427.58
事業系	8.60
プラスチック製容器包装	3,668.41
家庭系	3,668.14
事業系	0.27

有害ごみ	12.01
(95.6%)	
蛍光管	12.01

乾電池	90.54
(102.7%)	
乾電池	90.54

災害廃棄物	16.87
(5.1%)	
災害廃棄物	16.87

広域化等委託処理	1,312.71
(299.5%)	
	1,312.71

[中間処理]
処理施設：朝日環境センター、戸塚環境センター

焼却処理	152,297.67
(99.0%)	
一般ごみ	142,860.42
広域化委託処理	1,312.71
焼却対象ごみ	1,375.91
リサイクル残さ	2,088.12
破碎可燃物	4,660.51
乾電池	90.54
二次電池	0.00
蛍光管	12.01
保管	102.55

処理施設：戸塚環境センター

破碎処理	5,801.44
(104.5%)	
破碎可燃物	4,660.51
再生粗大ごみ	8.79
破碎前金属	57.54
破碎後金属	1,011.95
破碎前アルミ屑	26.25
破碎後アルミ屑	36.40
特定家庭用機器	10.96
保管	213.80
小型家電	26.12
処理困難物	176.72

処理施設：リサイクルプラザ

資源化処理	21,646.89
(113.8%)	
びん選別	3,582.53
生きびん	23.81
白カレット	1,064.41
分別基準適合物	0.00
独自資源化量	1,064.41
茶カレット	772.69
分別基準適合物	442.37
独自資源化量	330.32
その他カレット	650.16
カレット残さ	982.00
リサイクル残さ	89.46
飲料かん選別・圧縮	1,518.04
アルミ	1,006.48
スチール	260.67
リサイクル残さ	250.89
金属類選別・保管	1,667.09
売却金属	1,114.88
破碎金属	266.90
小型家電	35.35
スプレー缶	99.33
リサイクル残さ	150.63
ペットボトル選別・圧縮	2,343.24
分別基準適合物	1,136.84
独自資源化量	845.15
リサイクル残さ	361.25
繊維類選別・保管	2,427.23
売却繊維類	1,807.44
リサイクル残さ	619.79
紙類選別・梱包	6,440.35
新聞紙	643.51
雑誌・雑紙	1,708.48
段ボール	3,051.32
紙バック	22.67
紙製容器包装	786.89
分別基準適合物	0.00
独自資源化量	786.89
リサイクル残さ	227.48
プラスチック製容器包装選別・圧縮	3,668.41
分別基準適合物	3,279.79
リサイクル残さ	388.62

処理施設：鳩ヶ谷衛生センター

選別処理	1,924.33
(116.6%)	
焼却対象ごみ	1,375.91
破碎対象ごみ	239.25
資源化対象ごみ	4.17
破碎前金属	287.12
破碎前アルミ	13.49
小型家電	4.39

[最終処分]

埋立処分	6,751.66
(95.9%)	
焼却残さ物	6,751.66

資源化物

31,741.35	(108.2%)
焼却残さ金属	791.29
未酸化鉄	748.74
未酸化アルミ	56.88
溶融スラグ	8,054.50
焼却残渣物(セメント資源・路盤材資源)	1,212.52
再生粗大ごみ	8.79
破碎前金属	344.66
破碎後金属	1,011.95
破碎前アルミ屑	39.74
破碎後アルミ屑	36.40
びん	3,493.07
生きびん	23.81
白カレット	1,064.41
茶カレット	772.69
その他カレット	650.16
カレット残さ	982.00
飲料かん	1,267.15
アルミ	1,006.48
スチール	260.67
金属類	1,214.21
売却金属	1,114.88
スプレー缶	99.33
ペットボトル	1,981.99
繊維類	1,807.44
紙類	6,212.87
新聞紙	643.51
雑誌・雑紙	1,708.48
段ボール	3,051.32
紙バック	22.67
紙製容器包装	786.89
プラスチック製容器包装	3,279.79
特定家庭用機器	10.96
小型家電	65.86
乾電池	90.54
二次電池	0.00
蛍光管	12.01

処理困難物

176.72	(125.1%)
スプリング	137.03
タイヤ	0.00
バッテリー	0.00
消火器	0.00
バイク	0.00
車部品等	1.75
その他	37.94

委託処理

0.00	一般ごみ	0.00
(-)	災害廃棄物	0.00

※ () 内の数字は対前年度比
 ※ リサイクル残渣とは、資源物を処理する際に生じる不純物を示す
 ※ 併せ産廃とは、一般廃棄物とあわせて処理する産業廃棄物を示す
 ※ 災害廃棄物の内訳は一般ごみ13,560kg、粗大ごみ3,310kg

##

3 廃棄物の排出状況について

(1) 排出量の推移

「排出量」とは、市が収集したごみの量、市のごみ処理施設に直接搬入されたごみの量、および集団資源回収で資源化された紙類・繊維類の量の合計であり、本市の一般廃棄物の総量（併せて処理する産業廃棄物を含む）である。

令和2年度は、対前年度比757t(0.4%)減少した。

図1 排出量の推移

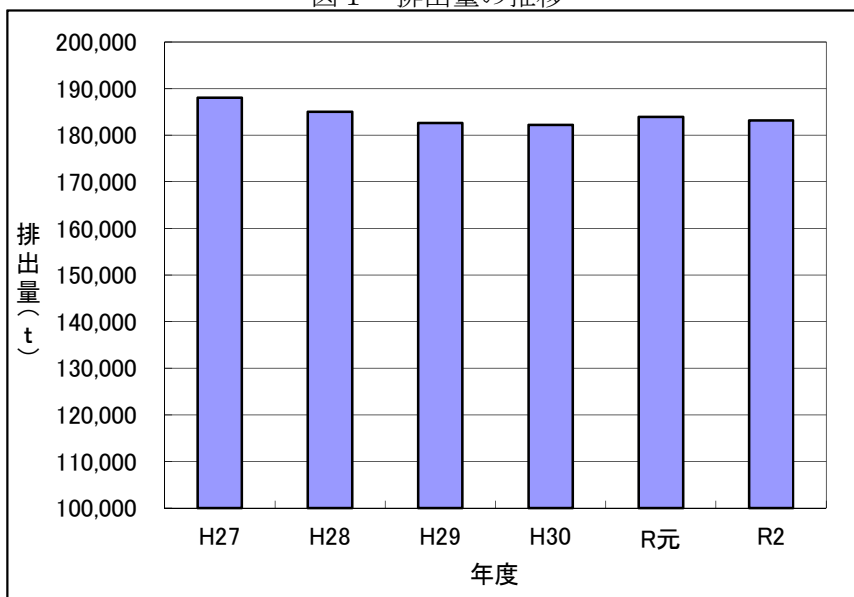


表1 排出量の推移

年 度	H27	H28	H29	H30	R元	R2
排 出 量	188,023	185,062	182,598	182,207	183,899	183,142
	-	98.4%	98.7%	99.8%	100.9%	99.6%

【下段は、対前年度比率】

※平成29年度13 t、30年度3 t、令和元年度333 t、2年度17 tの災害廃棄物を含む。

(2) 排出量（集団資源回収量除く）の推移

「排出量（集団資源回収量除く）」とは、排出量から集団資源回収量を除いた量である。

令和2年度は、対前年度38 t(0.001%)減少した。

図2 排出量（集団資源回収量除く）の推移

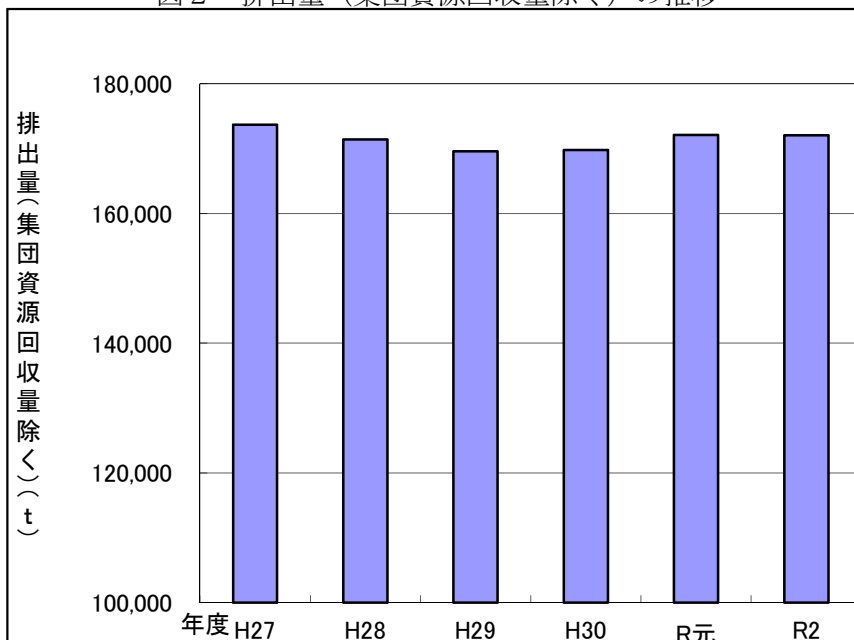


表2 排出量（集団資源回収量除く）の推移

年 度	H27	H28	H29	H30	R元	R2
排 出 量 (集団資源回収量除く)	173,693	171,432	169,597	169,803	172,077	172,039
	-	98.7%	98.9%	100.1%	101.3%	100.0%

【下段は、対前年度比率】

※平成29年度13 t、30年度3 t、令和元年度333 t、2年度17 tの災害廃棄物を含む。

(3) 家庭系・事業系別排出量（集団資源回収量除く）の推移

令和2年度の家庭系一般廃棄物排出量（集団資源回収量除く）は、対前年度比4,316 t (3.4%)増加した。

事業系一般廃棄物の排出量は、対前年度比4,037 t (9.0%)減少した。

図3 家庭系・事業系別排出量（集団資源回収量除く）の推移

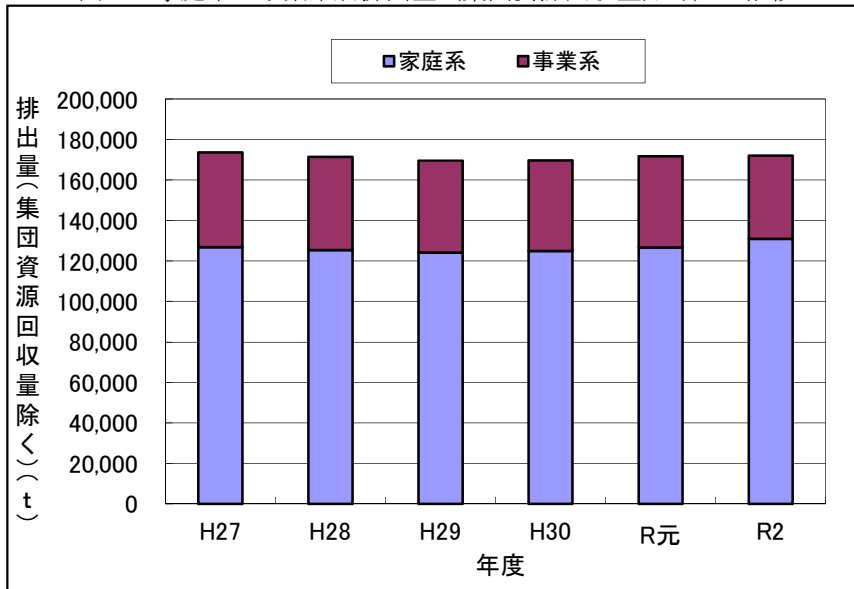


表3 家庭系・事業系別総排出量の推移

年 度	H27	H28	H29	H30	R元	R2
家 庭 系	126,816	125,376	124,069	125,017	126,665	130,981
	-	98.9%	99.0%	100.8%	101.3%	103.4%
事 業 系	46,877	46,056	45,515	44,783	45,079	41,042
	-	98.2%	98.8%	98.4%	100.7%	91.0%

【下段は、対前年度比率】

※家庭系・事業系に災害廃棄物は含まない。

(4) 分別収集の推移

ア 一般ごみ

令和2年度は、対前年度比2,869 t (2.0%)の減少となった。内訳は、家庭系が1,184 t (1.2%)増加、事業系が4,053 t (9.0%)の減少となっている。

図4 一般ごみの推移

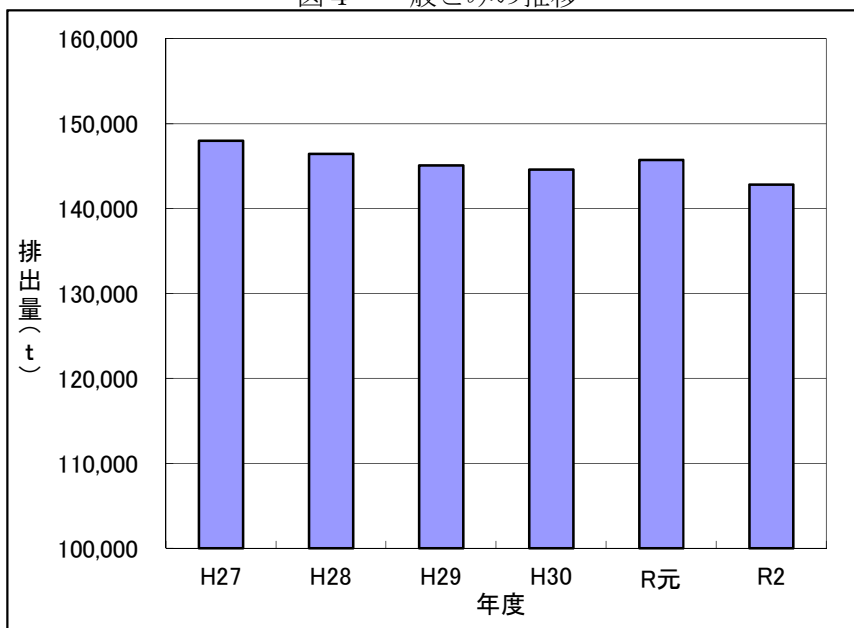


表4 一般ごみの推移

年 度	H27	H28	H29	H30	R元	R2
一 般 ご み	147,970	146,451	145,082	144,593	145,716	142,847
	-	99.0%	99.1%	99.7%	100.8%	98.0%

【下段は、対前年度比率】

※一般ごみに災害廃棄物は含まない。

イ 粗大ごみ

令和2年度は、対前年度比 526 t (7.6%) 増加した。内訳は、家庭系粗大ごみが 516 t (7.6%) 増加、事業系粗大ごみが 9 t (13.6%) 増加となっている。

図5 粗大ごみの推移

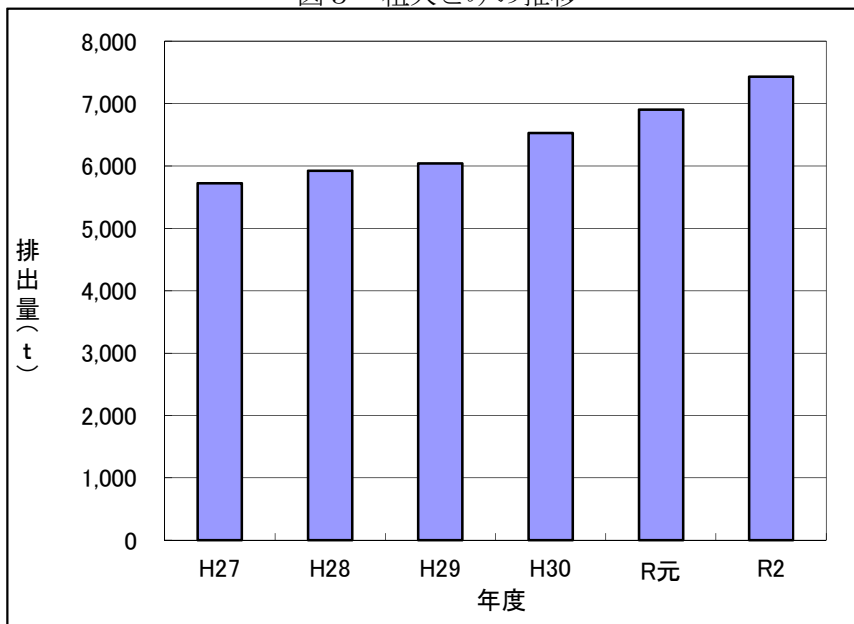


表5 粗大ごみの推移

年 度	H27	H28	H29	H30	R元	R2
粗 大 ご み	5,723	5,923	6,044	6,529	6,904	7,430
	-	103.5%	102.0%	108.0%	105.7%	107.6%

【下段は、対前年度比率】

※粗大ごみに災害廃棄物は含まない。

ウ 資源物

令和2年度は対前年比 2,620 t (13.8%) 増加した。内訳は、家庭系資源物が 2,614 t (13.8%) 増加、事業系資源物が 6 t (34.5%) 増加となっている。

図6 資源物の推移

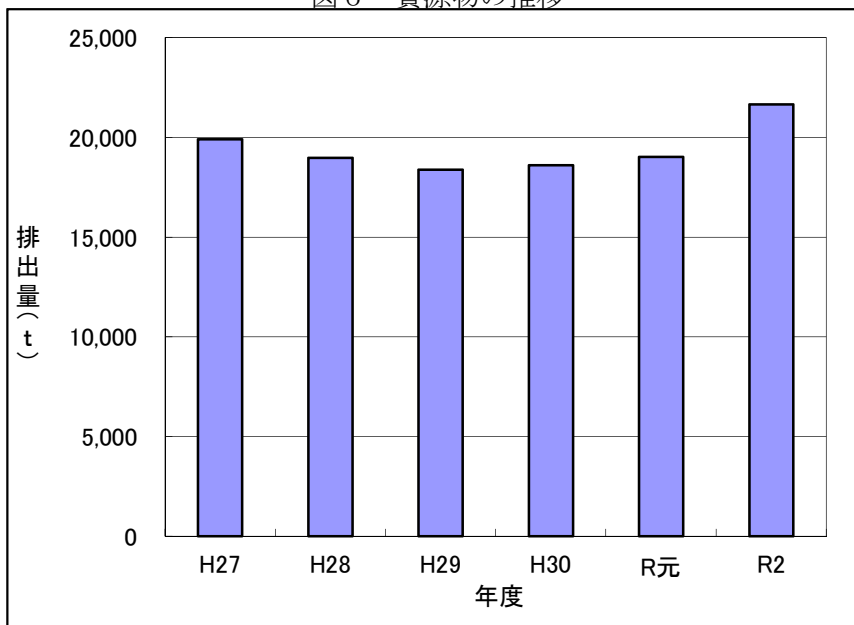


表6 資源物の推移

年 度	H27	H28	H29	H30	R元	R2
資 源 物	19,911	18,978	18,386	18,590	19,023	21,643
	-	95.3%	96.9%	101.1%	102.3%	113.8%

【下段は、対前年度比率】

※資源物に災害廃棄物は含まない。